



CISC セミコンダクター社はオーストリアのクラーゲンフルトに本社を置き、エンジニアリングサービスと製品を提供するグローバルな専門家組織です。RFID 分野では ISO/IEC や GS1 EPCglobal の活動に参加し標準化をリードしています。

多機能 RFID 試験・解析装置 CISC RFID Xplorer エアプロトコルを「見る」、「確かめる」

この1台で、タグやリーダ・ライタの研究開発から設計・製造、システム導入現場での問題解決まで、全ての要求に応えます。



対応規格 / プロトコル

- ISO/IEC 18000-63 (ISO/IEC 18000-6 Type C)
- GS1 EPC global Gen2 (including Gen2 V2)
- ISO/IEC 18046-3
- ISO/IEC 18047-6
- ISO/IEC 29167-10 and ISO/IEC19823-10
- SAE International AS5678 Aerospace standard



CISC RFID Xplorer は、コンパクトな筐体 1 台で

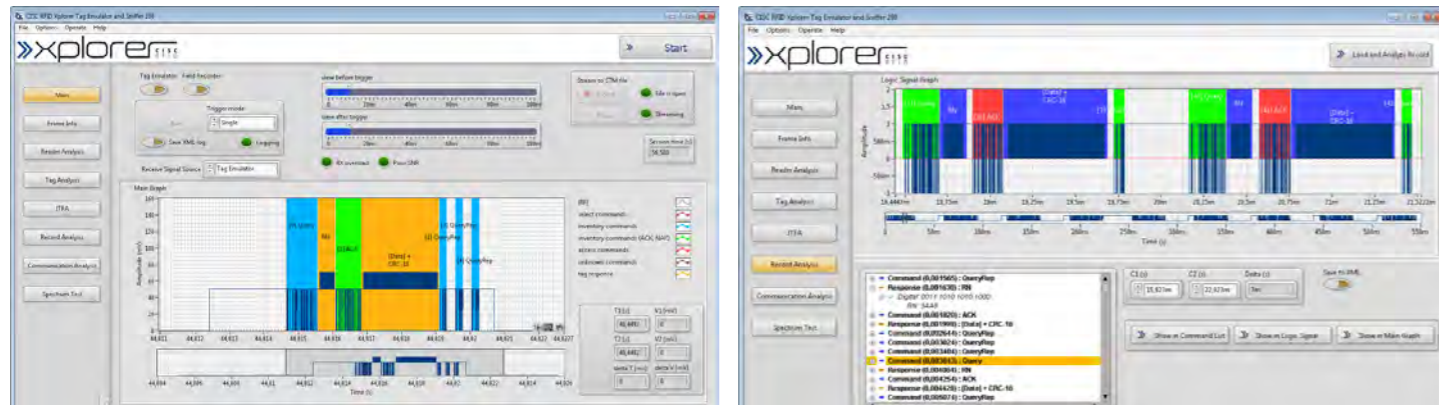
- タグとリーダ・ライタとの信号解析
- タグやリーダ・ライタの適合性試験
- 疑似タグを使ったタグ・エミュレーション
- タグやリーダ・ライタの性能評価

などを行える多機能 RFID 試験・解析装置です。

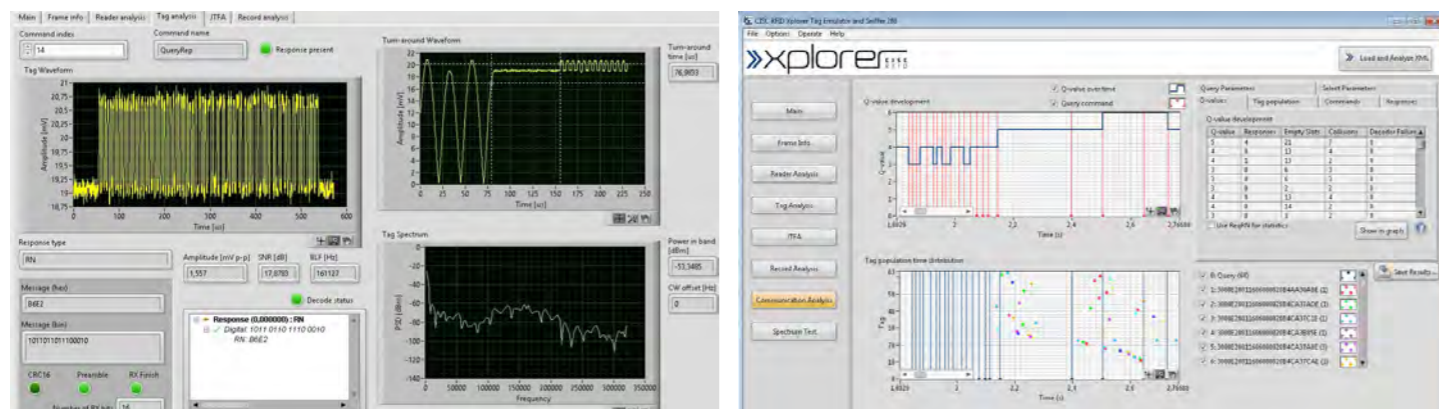


タグとリーダ・ライタとの信号解析機能 / SNIFFER

SNIFFER 機能は、リーダ・ライタからのコマンドと、タグからのレスポンスをリアルタイムに検出し、各コマンド名とタグのレスポンス・タイプ名を各信号の上に表示するので、リーダ・ライタとタグとの通信シーケンスを視覚的に捉え、解析することができます。また、Select、Query、ACK など、リーダ・ライタからのコマンドでトリガーをかけ、画面の表示タイミングを変えたり、通信シーケンスをレコーディングして、後から詳細な検討を行うこともできます。

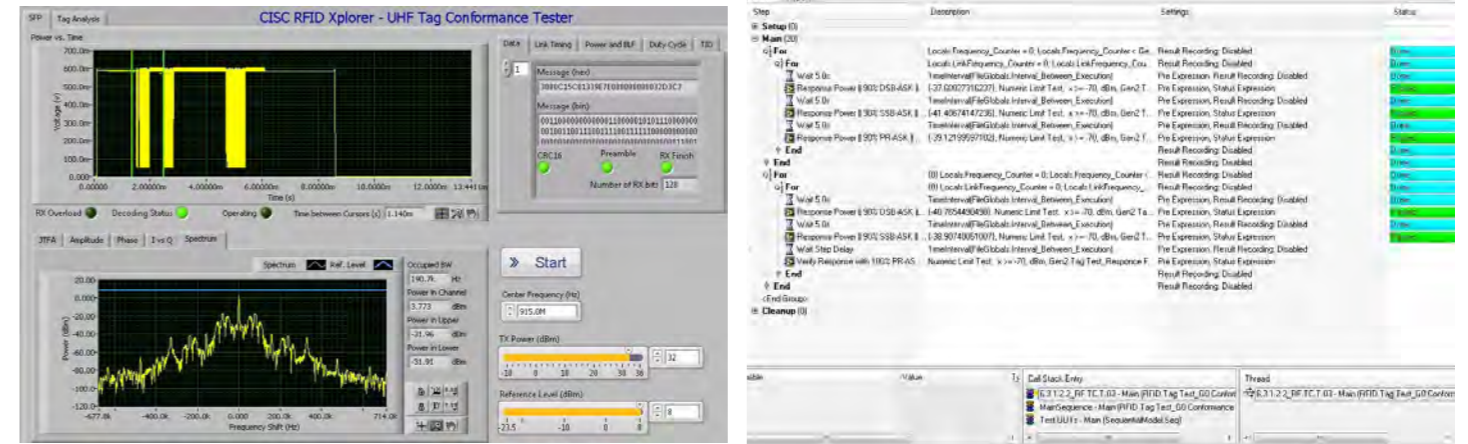


フレーム情報解析画面では、リーダ・ライタからのコマンドと、タグからのレスポンスの内容をタイムスタンプと共にツリー構造で表示します。タグ信号解析画面では、タグからのレスポンス信号波形やタグのスペクトラムなどが表示され、信号に含まれるデータ内容や、振幅 (mV p-p)、SNR、BLF などを確認できます。また、取り込まれた XML ファイルを基に、Q 値の遷移やタグのポピュレーションなども確認できます。



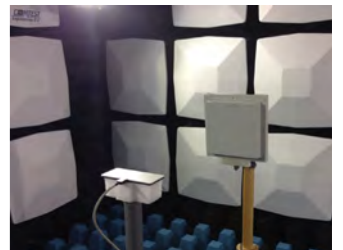
タグの適合性試験機能 / TAG CONFORMANCE TESTER

タグの適合性試験画面では、指定したシーケンスでリーダ・ライタのコマンドを送り、タグのレスポンスの適合性を、時間領域と周波数領域の両面から確認することができます。また、「EPC Compliant Class-1 Generation-2 UHF RFID Devices Conformance Requirements」に対応した適合性自動試験機能を使うと、あらかじめシーケンス・ファイルに設定された適合性試験項目を自動で試験し、試験結果をレポート形式で表示することができます。



タグのエミュレーション機能 / TAG EMULATOR

疑似タグの設定画面で、Delimiter、Tari、RTcal、TRcal などの最大値、最小値、T1 timeout や BLF のオフセット値、Duty cycle、RN16 Mode などを設定し、選択したメモリバンクへのデータを書き込んだ疑似タグを使い、リーダ・ライタ開発やシステム構築における課題の検討を行うことができます。また、リーダ・ライタの性能評価機能を使い、リーダ・ライタの適合性の確認や周波数毎のリーダ・ライタの受信感度を測定することができます。



タグの性能評価機能 / TAG PERFORMANCE TESTER

タグの性能評価画面では、「GS1 EPCglobal Tag Performance Parameters and Test Methods」に対応し、周波数毎のタグの起動電力やバックスキャタ、読み取り距離などを測定し結果を表示します。また、ターンテーブルを使い、タグの放射パターンも表示することができます。

